

ISSN 2758-1039

龍谷大学 国際社会文化研究所 紀要

第26号 2024年6月

Journal of the Research Institute
for International Society and Culture,
Ryukoku University

Vol. 26 2024.6

I 共同研究

研究課題：東アジアにおける南南および南北国際移動

ーフィリピン生まれ英語教師の日本・タイ・ベトナム・ミャンマ
の事例より理論構築に向けてー

**South-South and South-North International Labor Migration in East Asia:
The Case of Philippine-born English Teachers in Japan, Thailand, Vietnam and Myanmar**

International Labor Migration of Philippine-born teachers in East Asia:

The Cases of Japan, Thailand and Vietnam

as Destination Countries..... Ma. Reinaruth D. CARLOS 9

東アジアにおけるフィリピン人教師の国際移動
——受け入れ国日本・タイとベトナムでの事例——

Mary Rose GA SARAUSAD

研究課題：発展途上諸国における社会・連携経済の可能性

ーラテンアメリカとアフリカの比較研究ー

**Possibility of Social and Solidarity Economy Comparative Analyses
of Latin America and Sub-Saharan Africa**

Potentials of Social and Solidarity Economy in Enabling South Africa's Transition
to More Inclusive and Greener Future Fumihiko SAITO 31

南アフリカにおける社会的連帯経済の可能性
——より包摂的で持続可能な経済への移行——

コロナ禍における社会連帯経済の挑戦

——リオデジャネイロ州 Asplande の事例—— 河合 沙織 61

The Challenge of Social and Solidarity Economy in the COVID-19 Pandemic:

The Case of Asplande, Rio de Janeiro

社会的連帯経済としてのフェアトレードの持続可能性

——ルカニ村・フェアトレード・プロジェクトを事例として—— 辻村 英之 81

Sustainability of Fair Trade as a Social Solidarity Economy Initiative:

A Case Study of the Fair Trade Project for Lukani Villagers

研究課題：先島諸島に置ける自衛隊基地の構築と地域文化の変容

**The Construction of SDF Bases and Transformation
of Regional Culture in the Sakishima Islands**

仏教的国際関係理論

——その展開と先島諸島の基地問題への適用可能性について—— …… 清水 耕介 99

Buddhist Theory of International Relations:

陳 慶昌

Its Development and Applicability to the Sakishima Islands Base Issue

研究課題：小学校英語に有効なリテラシー教育システムの開発

**Developing Effective Literacy Teaching System
in Japan's Elementary School English Education**

Nurturing Literacy Development in Elementary School English Education:

Issues and Challenges Regarding Curriculum Management … Toshinobu NAGAMINE 113

小学校英語教育における識字能力の育成

Shoichi MATSUMURA

——カリキュラム・マネジメントに関わる問題と課題——

研究課題：対話と共生が拓くこれからの言語・コミュニケーション教育

—課題と実践への提言—

Language and Communication Education for Japan's Future:

Proposal for Overcoming Current Problems to Improve Educational Practices

研究ノート

国際共修パイロット授業実践報告 …… 村田 和代 125

Report on a Pilot Class of Intercultural Collaborative Learning

Resilience and Rethinking Education:

New Zealand, Japan and the COVID-19 Pandemic …… Julian CHAPPLE 139

レジリエンスと教育再考

——ニュージーランド、日本との COVID-19 パンデミック——

研究資料

コロナ禍におけるオンラインと

対面授業の効果の違いに関する一考察 …… 岡本能里子 157

A Comparative Study of the Different Effectiveness

of Online and Face-to-Face Classes Under COVID-19

研究ノート

- 英語非母語話者間のインタラクションにおける実践と課題 … 吉田 悦子 165
Practices and Challenges in Interaction Between Non-Native Speakers of English

研究ノート

- デジタルネイティブによる新型コロナウイルスについての初対面会話
——共感の構築はどのようになされるか——…………… 秦 かおり 173
Digital Natives' Online First Meeting Discourse About COVID-19:
How the Empathy Was Constructed in the Narratives

研究課題：ポスト・コロナ時代における芸術・メディア文化の教育研究と実践活動

**Education, Research, and Practices of Arts
and Media Culture in the Post-COVID 19 Era**

研究ノート

- 日本の大手新聞紙におけるコロナ禍下の台湾報道
——記事数の変遷から読み解く羨望のまなざし——…………… 八幡 耕一 185
Taiwan's Experience and Struggle During the Pandemic:
Examining Articles in Major Japanese Newspapers

Traditional Theatre During “with Covid-19”:

- Japanese Noh and Kyogen Coping Strategies…………… Jonah SALZ 201
“With Covid-19” の伝統芸能
——日本の能と狂言の対処法——

書評

- アーサー・ダントー (佐藤一進訳)
『アートとは何か～芸術の存在論と目的論』(人文書院, 2018)
(原題: Arthur Coleman Danto, *What Art Is*, Yale University Press, 2013)
…………… カルドネル・シルヴァン 215
About Danto's Book “What Is Art”
(2013, 2018 for Japanese Translation)

研究ノート

- パンデミック中・後における
フランスのマンガ市場の動向…………… 杉本バウエンス・ジェシカ 221
Trends in The French BD Market During and After the Pandemic

Exploring the Life of Kasagi Shizuko Through NHK's <i>Asadora</i> (Morning Drama) "Boogie Woogie" (2023) …… Michael FURMANOVSKY	231
NHK 連続テレビ小説「ブギウギ」(2023)を通じて 笠置シズ子の生涯を辿る	Patrick PATTERSON

書評

日本国内の AIR の可能性と社会的課題 …………… 澤西 祐典	255
The Potential and Societal Challenges of AIR Programs in Japan	

I 共同研究

【研究課題】

東アジアにおける南南および南北国際移動
ーフィリピン生まれ英語教師の日本・タイ・ベトナム・ミャンマ
の事例より理論構築に向けてー

South-South and South-North International Labor Migration in East Asia:
The Case of Philippine-born English Teachers
in Japan, Thailand, Vietnam and Myanmar

【研究課題】

発展途上諸国における社会・連携経済の可能性
ーラテンアメリカとアフリカの比較研究ー

Possibility of Social and Solidarity Economy Comparative Analyses
of Latin America and Sub-Saharan Africa

【研究課題】

先島諸島に置ける自衛隊基地の構築と地域文化の変容

The Construction of SDF Bases and Transformation
of Regional Culture in the Sakishima Islands

【研究課題】

小学校英語に有効なリテラシー教育システムの開発

Developing Effective Literacy Teaching System
in Japan's Elementary School English Education

【研究課題】

対話と共生が拓くこれからの言語・コミュニケーション教育
－課題と実践への提言－

Language and Communication Education for Japan's Future:
Proposal for Overcoming Current Problems to Improve Educational Practices

【研究課題】

ポスト・コロナ時代における
芸術・メディア文化の教育研究と実践活動

Education, Research, and Practices of Arts
and Media Culture in the Post-COVID 19 Era

『国際社会文化研究所紀要』執筆要領

1. 「国際社会文化研究所紀要」に発表する「論文」「研究資料」「研究ノート」「書評」等（以下「論文資料等」という。）は、いずれも他に未発表のものに限る。
2. 論文資料等の字数は次のとおりとする。
「論文」：原則 20,000 字
「研究資料」「研究ノート」：原則 12,000 字
「書評」：原則 6,000 字
3. 和文の論文資料等には、必ず英文タイトル・英文アブストラクトを添付するものとする。和文以外の論文資料等には、必ず英文・和文双方のタイトルとアブストラクトを添付するものとする。
4. 論文資料等は、電子媒体により提出することとする。また、別に定める「原稿提出表および電子化による公開許諾書」の添付を必要とする。
5. 論文資料等の掲載内容は、タイトル、執筆者名、アブストラクト、本文とする。
6. 研究代表者・共同研究者全員は、研究期間終了後、翌年度の9月末まで（研究期間終了後6ヶ月以内）に、論文資料等を提出しなければならない。ただし、「国際社会文化研究所 叢書出版要領」に定める叢書の出版意思表示をした場合または2024年度以降に開始する指定研究において、国際水準の学術雑誌にオープンアクセス論文の掲載の意思表示をした場合には、論文資料等の提出を免除する。
7. 研究期間2年以上の研究プロジェクトの代表者・共同研究者は、研究期間中に、論文資料等を提出することができる。提出期限は毎年9月末までとする。
8. 指定研究・共同研究については、共同研究者以外の研究者が国際社会文化研究所運営会議（以下「運営会議」という。）の議を経て論文資料等の執筆に加わることができる。個人研究についても、同じく運営会議の議を経て他の研究者が論文資料等の執筆に加わることができる。
9. 論文資料等の掲載順序は運営会議で決定する。
10. 運営会議で掲載が不適切と判断した論文資料等は、掲載しないことがある。
11. 掲載論文資料等の著作権は執筆者に帰属するが、本学及び国立情報学研究所等が論文資料等を電子化により公開することについては、複製権（注1）及び公衆送信権（注2）の行使を国際社会文化研究所に委託するものとする。
注1 複製権：著作物を有形的に再製することに関する権利
注2 公衆送信権：著作物を公衆向けに「送信」することに関する権利
12. 本要領に定めのない事項については、運営会議にて議する。
13. 本要領は2023（令和5）年7月26日から適用する。

以 上

附則 1998（平成10）年6月17日運営会議決定

附則 2003（平成15）年1月16日運営会議改正

附則 2006（平成 18）年 4 月 26 日 運営会議改正
附則 2009（平成 21）年 3 月 2 日 運営会議改正
附則 2010（平成 22）年 3 月 10 日 運営会議改正
附則 2016（平成 28）年 7 月 19 日 運営会議改正
附則 2018（平成 30）年 6 月 26 日 運営会議改正
附則 2020（令和 2）年 5 月 27 日 運営会議改正
附則 2022（令和 4）年 3 月 25 日 運営会議改正
附則 2023（令和 5）年 7 月 26 日 運営会議改正

国際社会文化研究所紀要 第26号

2024年6月30日発行

編集・発行 龍谷大学国際社会文化研究所
〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5
TEL 077-543-7559

制作 協和印刷株式会社
